NIE実践報告

1．タイトル：**新聞記事を通して、社会と関わる**

2．学校名

和歌山県開智中学校

3．実践者名（代表者名）

貴志誠

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　151人

6．単元（本時の学習課題）名

「自分の考えを持つ」

7．目標（狙い）

社会で起こっている身近な出来事についての新聞記事を読み、正しく内容を理解するとともに、自分の意見を持つことで社会と関わる意識を持つ。

8．評価の視点

記事の内容をきちんと理解できているか。
社会に関わろうとする姿勢が見られるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞記事を通して、社会と関わる［国語：2時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「中国製冷凍ギョーザ、中毒をどう報じたか」を読み、出来事の概略をとらえる。
②それぞれの解説者の意見をとらえ、自分の考えを持つ。

（留意点）
・事実と意見を分けてとらえることを意識させる。
・意見を述べる場合は、記事のどの事実や誰のどのような見解に対する意見なのかをはっきりさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

事実と意見に注意して記事を読むことで、自分の意見を述べる場合に根拠を明確にして述べることができるようになった。身近な事件について、出来事だけでなく、事件が生じた背景まで考えるようになった。

12．成果と課題

身近に起こった事件に対して、生徒たちは予想以上に関心を持っていることがわかった。関心のあることに対しては、意見を持ち表現意欲もあることがわかった。今後も、さまざまな事件や出来事の新聞記事を提示し、生徒たちの埋もれた表現意欲を刺激していきたい。